

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8346
担当部課名	保健所	保健予防	課	精神保健・難病対策
事務事業名	精神保健集団指導活動事業		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12
施策名	第2施策	保健サービスの充実	年度

2 実施根拠及び関連法令等

精神保健福祉法

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
家庭に引きこもりがちな精神障害者の社会復帰を促進するため、スポーツ・レクリエーション・創作活動・料理などのプログラムを行う集団指導活動を実施するとともに、病気の知識や治療及び対応方法についての家族教室を実施し、再発の防止や適切な関わり方についての家族支援を行なう。	精神障害者の社会復帰対象者
	対象数
	約450人
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
<ul style="list-style-type: none"> 生活指導教室 年間44回 家族教室 年間5回 精神障害者仲間の会育成(経費内容) 生活指導教室実技指導謝礼及び家族教室講師謝礼 142千円 生活指導教室教材及び調理実習費 255千円 	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名 相模原市障害者福祉計画
	計画年次 10年度～14年度
	精神保健施策の整備

4 評価指標

指標名	生活指導教室参加率	家族教室参加率	仲間の会育成支援率
指標式	当年度参加者数 / 前年度参加者数 × 100%	当年度参加者数 / 前年度参加者数 × 100%	当年度支援実績 / 前年度支援実績 × 100%
指標設定の意図	参加者数の推移	参加者数の推移	仲間の会育成支援の対応状況

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標		419	a 442	b 419	442
指標		167	c 139	d 167	139
指標		31	e 30	f 31	30
事業費	決算(予算)額	0	410	397	442
	人員・時間数		836h	675h	836h
	人件費		3,787	3,058	3,787
	その他経費	0	0	0	0
	合計	0	4,197	3,455	4,229
特定財源		0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 95.2%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	442.0	c	139.0
b	419.0	d	167.0
$\times 100 = 105.5\%$		$\times 100 = 83.2\%$	
e	30.0	f	31.0
		$\times 100 = 96.8\%$	
理由 :	いずれの事業についても概ね前年度並みの実績をあげており、順調に推移している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	生活指導教室は、自宅で無為自閉な生活を送りがちな、精神障害者の最初の社会復帰の場として現在でも重要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	経済性・効率性は元来求めようがない事業である。精神障害者の自立と社会参加、社会復帰の場を保証している。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	地域生活支援センターが設置された場合、団体育成支援については代替の可能性が高い。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	生活指導教室については、週1回保健所での開催のため、南部地区からの利便性が低く参加者が少ない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	社会復帰の入り口として、他に代替の場を求めることも難しく、ステップアップの場としても有効性が高い。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 南部地区での実施を将来的には予定しており、参加者の利便性が向上し、より多くの参加者が望める。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 謝礼及び教材費であるため、事業実施上困難である。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	従来は保健所が中心であったが、平成14年度から市町村に業務が移管され、市町村でも独自に実施するところが出てきている。
今後の進め方		説明	現在は精神障害者の中で、統合失調症(精神分裂病)を対象に実施しているが、将来的には対象拡大を図るとともに、実施会場についても南部及び北部地区での拡大を考えている。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--